

2 基本理念と体系

(1) 基本理念

本市では、総合計画の基本構想に掲げたまちづくりの基本理念を踏まえ、今後のまちづくりにおいて、市民、事業者と共に実現を目指す天津市の将来像である「ひと、自然、歴史の縁で織りなす 住み続けたいまち“大津再生”」の実現を目指し、保健医療分野においては、市民一人一人が生涯にわたり健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進しています。

また、医療需要が増える一方、医療資源には限りがあることを、市民・関係機関・行政の間で共通認識として捉えた上で、市民一人一人が生涯にわたり心身ともに健康で安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指します。そのために、効率的・効果的で質の高い医療提供体制を整え、保健・医療・介護等の切れ目のない連携に基づく「地域包括ケアシステム」を深化するとともに、子どもから高齢者まで市民の誰もが将来にわたり大津で暮らし続けることへの安心を支える医療・保健の仕組みづくりを進めます。

そこで、本プランでは、その実現に向け、自助・互助・共助・公助の考え方を踏まえて基本理念を次のとおりとしています。

< 基本理念 >

いつまでもいきいきと暮らすことのできるまち・大津
～ 健康は自分で・地域で・社会でつくる ～

この基本理念のもと、本プランは、市民一人一人が自分の「こころとからだ」の健康に関心を持ち主体的に健康づくりに取り組むとともに、身近な地域で安全・安心な保健医療サービスが受けられる健康のまちづくりの実現を目指し、次の3つの基本目標を掲げて本プランの推進を図ります。

基本目標 1 生涯にわたる健康づくりを進めます

市民一人一人が生涯にわたって健康に暮らせるよう、それぞれのライフステージに応じた保健医療サービスの充実を図ります。

母子保健分野では、全ての親と子どもが心身とも健やかに安心して暮らすことができるようにします。

健康づくり分野では、疾病予防に努めるとともに、市民が病気の有無に関わらず、前向きに自分らしく暮らすことができるようにします。

高齢者支援分野では、市民が高齢になっても健康を維持でき、生きがいをもっていきいき暮らすことができるようにします。

難病支援分野では、難病患者や家族が望む場所で望む人と、安心して自分らしい生活

を続けることができるようにします。

精神保健分野では、精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及び家族並びに地域住民が安定した社会生活を送ることができるようにします。

基本目標 2 安全で快適な生活環境づくりを進めます

生活環境における保健衛生上の安全と安心を確保します。

感染症対策分野では、市民が感染症の脅威から逃れ、安心して暮らすことができるようにします。

生活衛生対策分野では、市民が健康で衛生的な日常生活を送ることができるようにします。

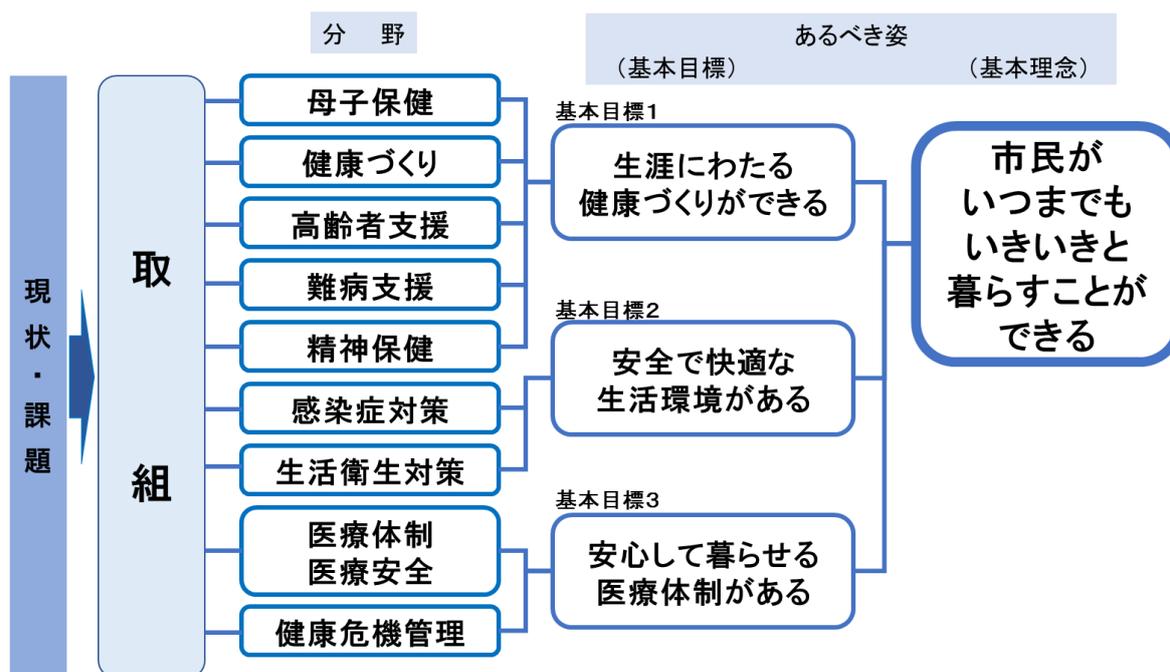
基本目標 3 安心して暮らせる医療体制づくりを進めます

住み慣れた地域で、健康で生きがいを感じながら生活を送ることは、市民共通の願いです。このため、市民が安心して医療サービスの提供を受けられるよう、行政や医療機関等が連携し、医療体制の整備・充実を図ります。

医療体制・医療安全分野では、市民が望んでいる安全・安心な医療を受けることができるようにします。

健康危機管理分野では、災害が起こったとき又は新型インフルエンザ等が発生したとき、市民が健康を保つことができるようにします。

【図 1-2-1】 プランの体系図



作成 大津市保健所

第4章 基本施策の推進(あるべき姿の実現)

本章は、本プランを推進するための基本施策を分野ごとに整理したものです。本プランの策定に当たり、各分野において市民がなっているべき状態を設定し、その実現に向けて中間目標及び取組の総称とその施策をまとめています。また、施策の推進に当たっては、市民の主観的な感覚を大切に、望ましい姿の実現を目指します。

基本目標1 生涯にわたる健康づくりを進めます

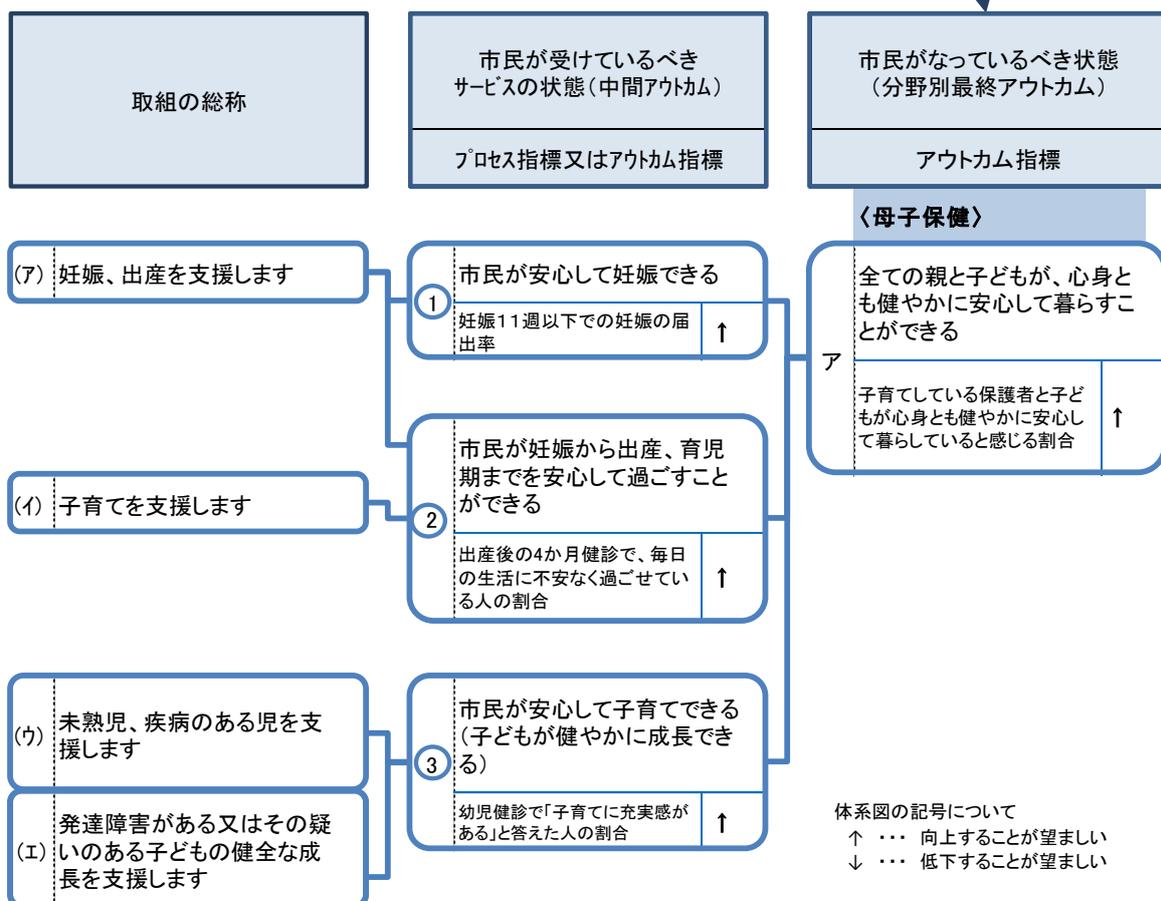
分野1 母子保健

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標1)〉

生涯にわたる健康づくりができる



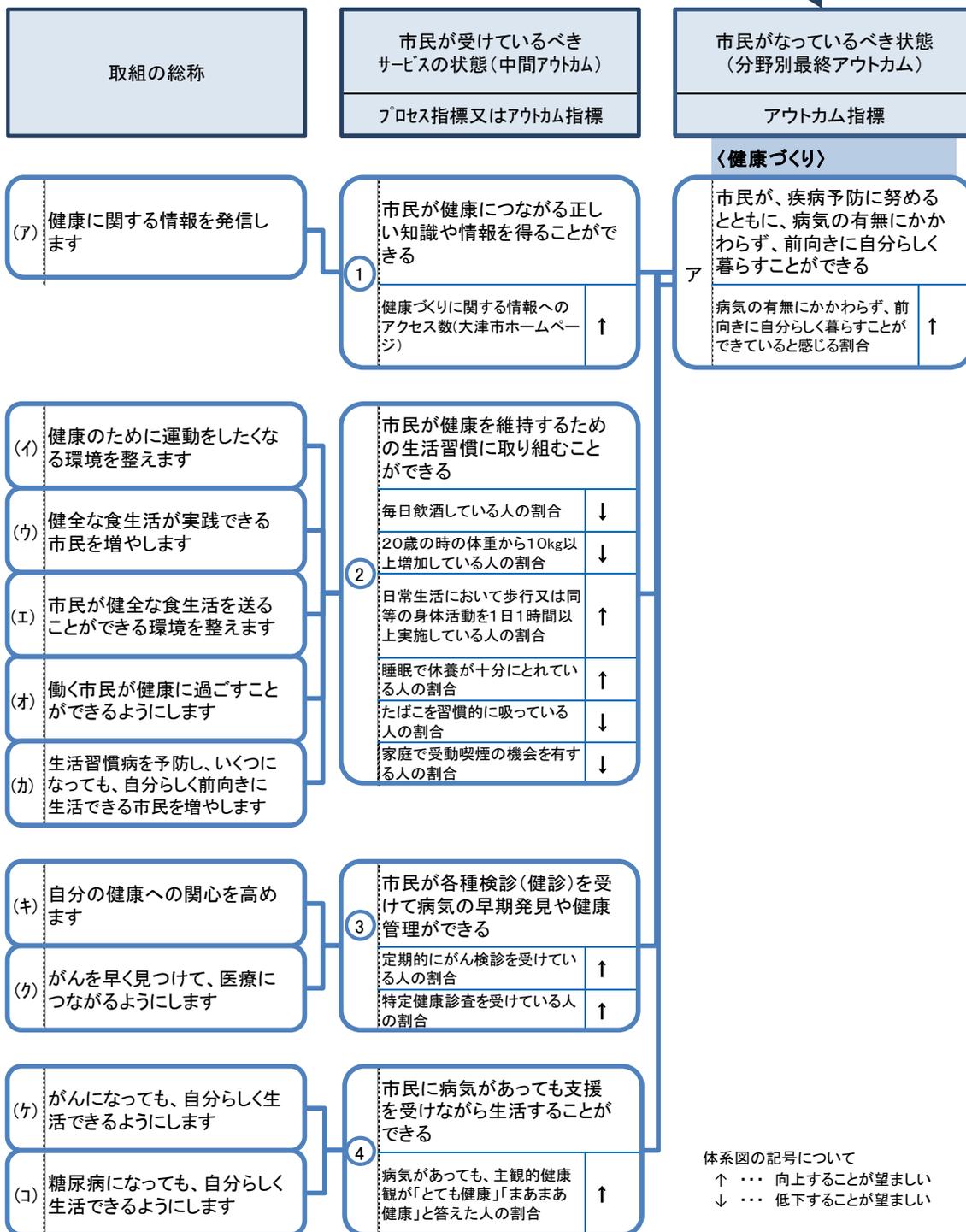
分野2 健康づくり

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標1)〉

生涯にわたる健康づくりができる



体系図の記号について

↑ … 向上することが望ましい
↓ … 低下することが望ましい

分野3 高齢者支援

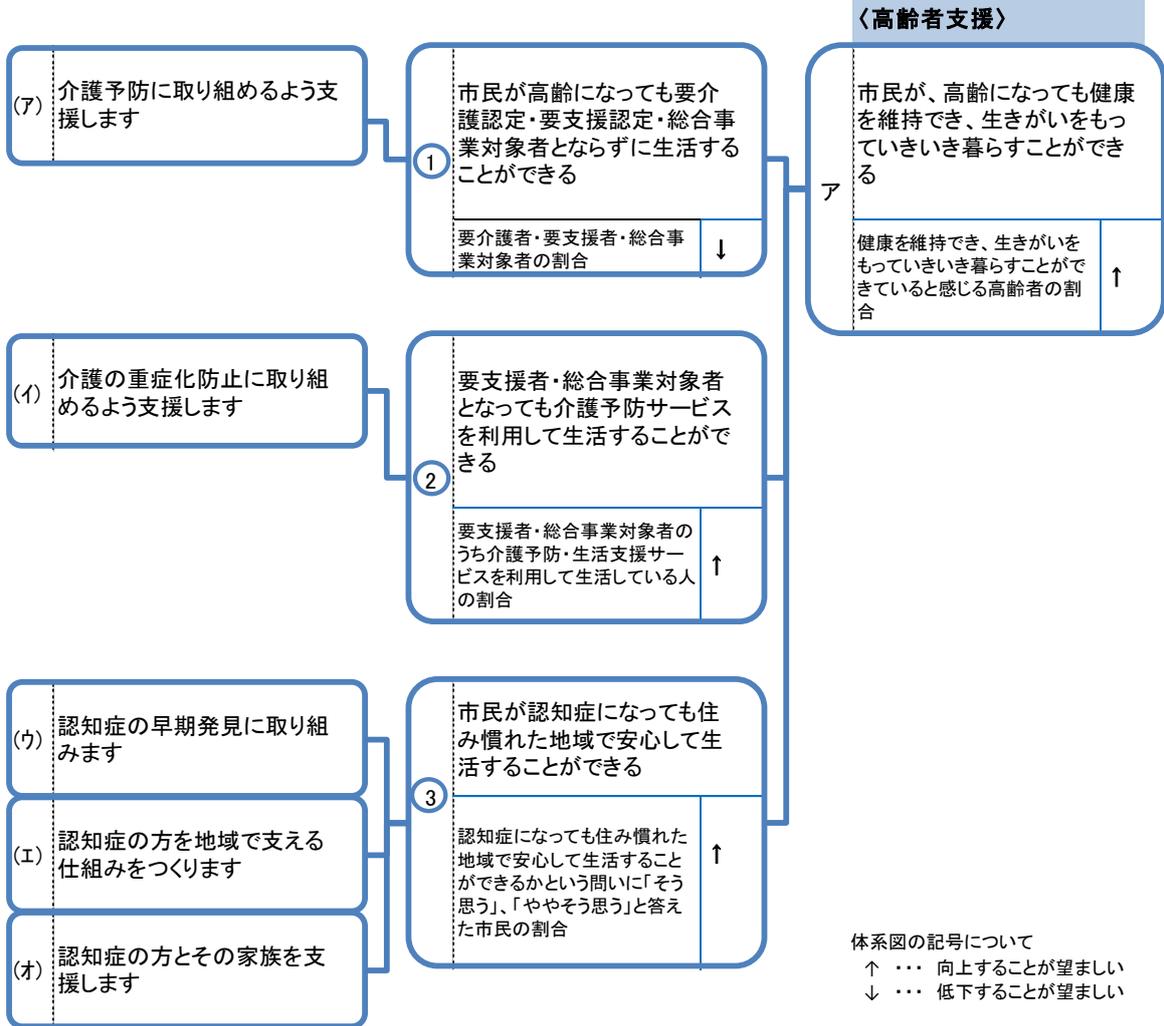
〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標1)〉

生涯にわたる健康づくりができる

取組の総称	市民が受けているべきサービスの状態(中間アウトカム) プロセス指標又はアウトカム指標	市民がなっているべき状態(分野別最終アウトカム) アウトカム指標
-------	---	-------------------------------------



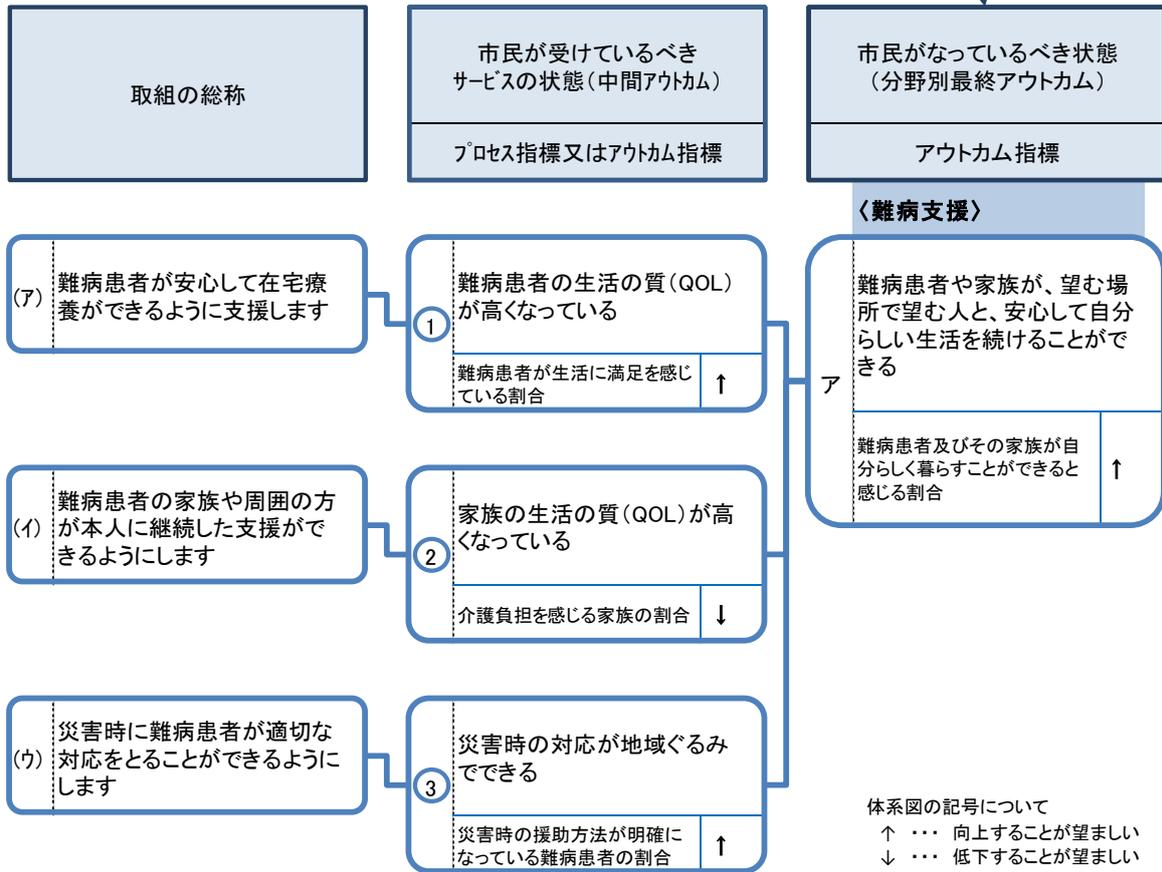
分野4 難病支援

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標1)〉

生涯にわたる健康づくりができる



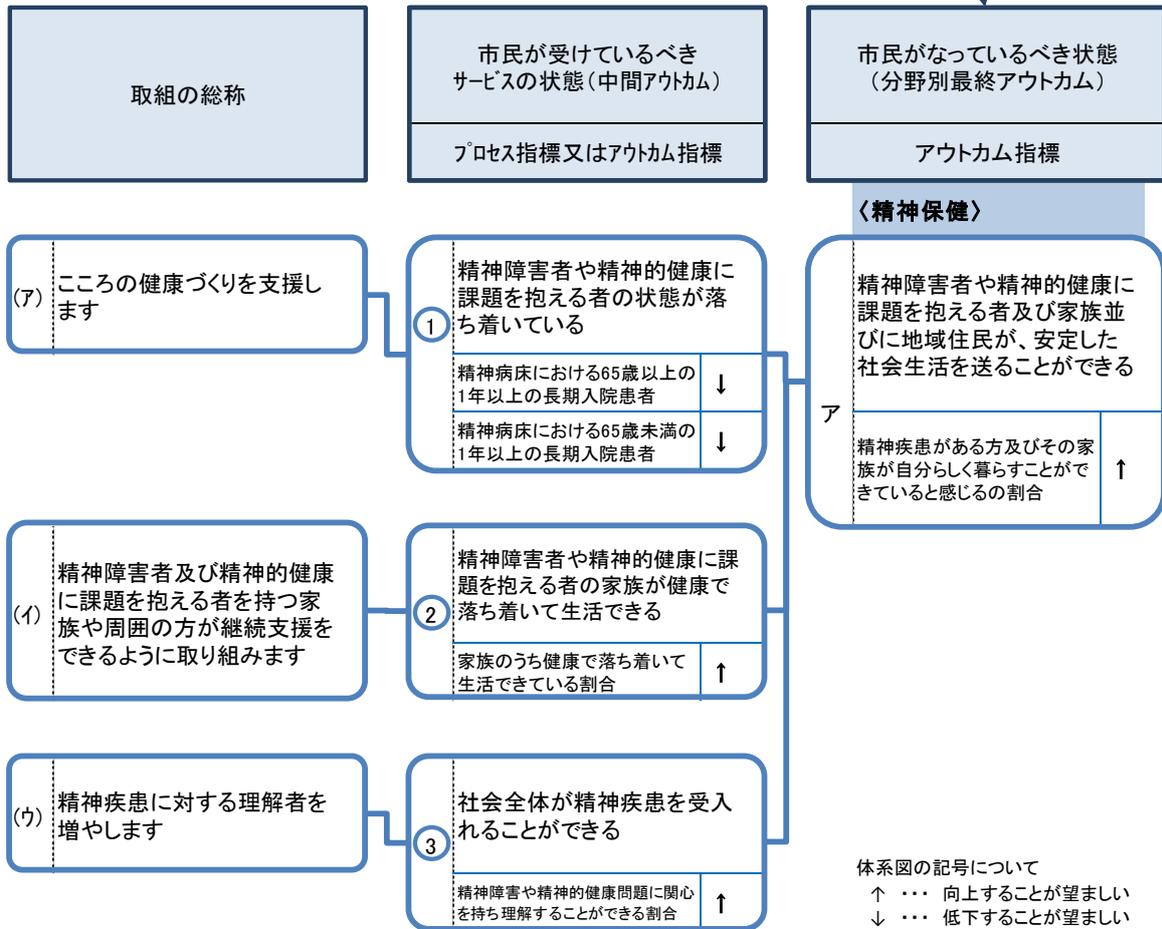
分野5 精神保健

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標1)〉

生涯にわたる健康づくりができる



体系図の記号について

- ↑ … 向上することが望ましい
- ↓ … 低下することが望ましい

基本目標 2 安全で快適な生活環境づくりを進めます

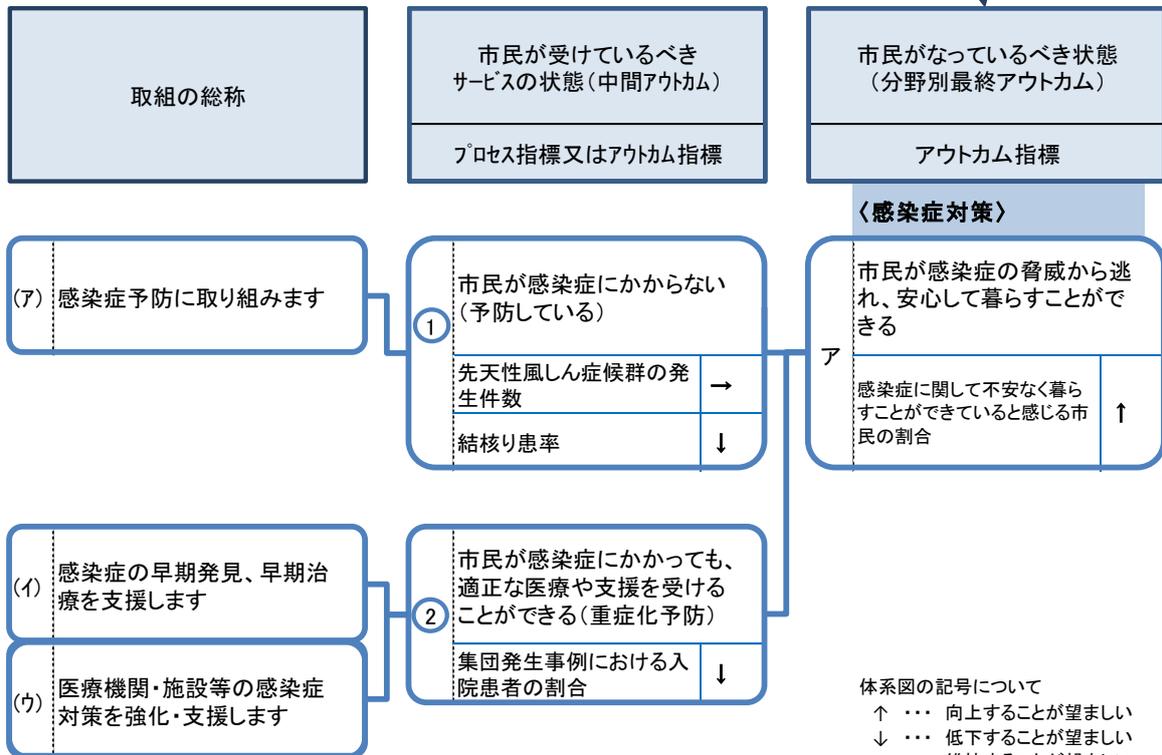
分野6 感染症対策

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標2)〉

安全で快適な生活環境がある



体系図の記号について
 ↑ … 向上することが望ましい
 ↓ … 低下することが望ましい
 → … 維持することが望ましい

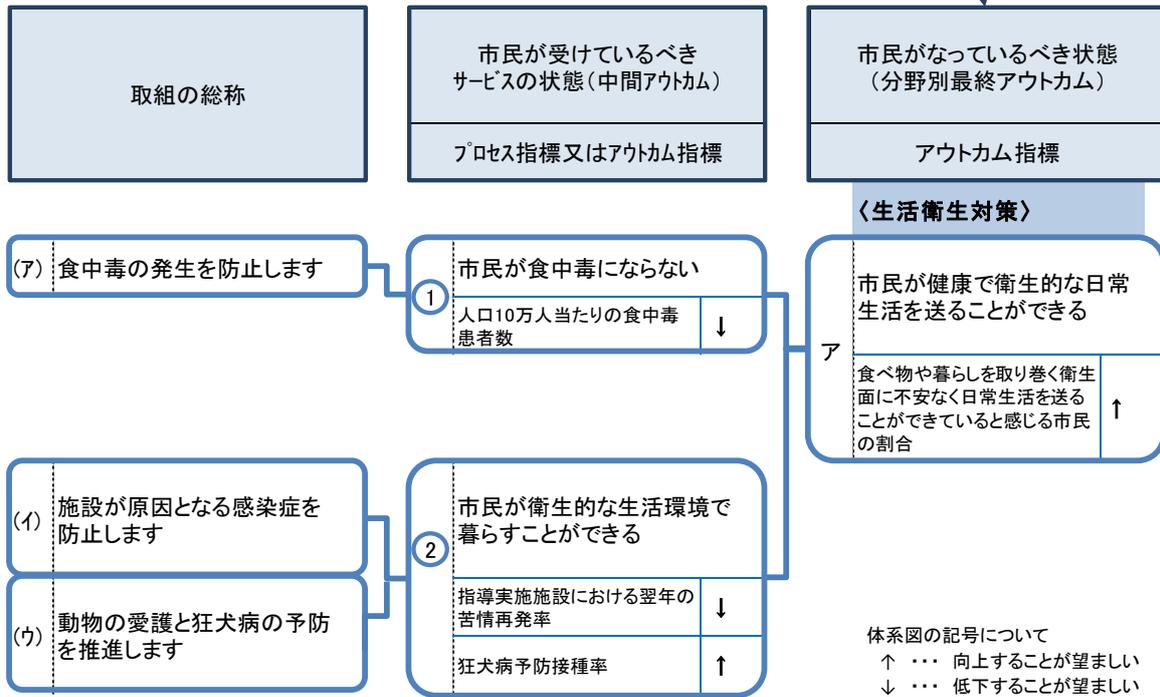
分野7 生活衛生対策

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標2)〉

安全で快適な生活環境がある



基本目標 3 安心して暮らせる医療体制づくりを進めます

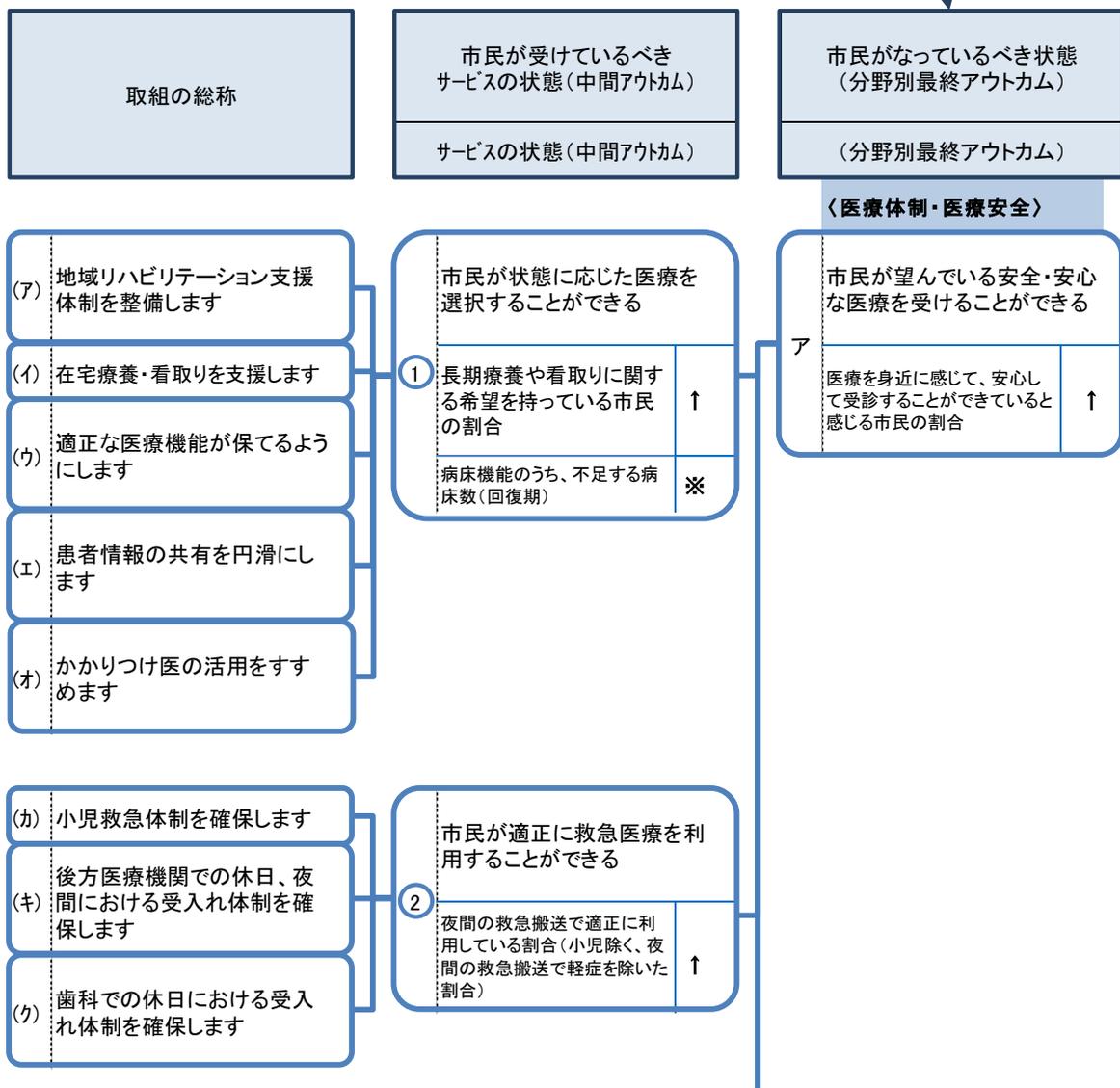
分野8 医療体制・医療安全

〈市民のあるべき姿〉

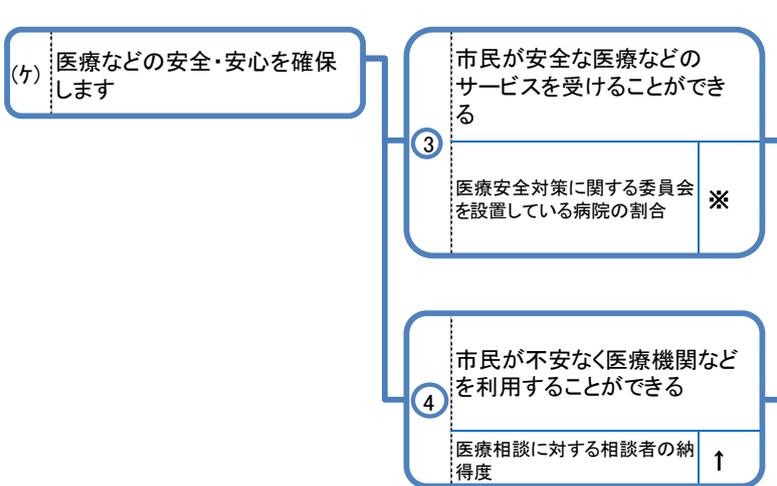
いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標3)〉

安心して暮らせる医療体制がある



取組の総称	市民が受けているべきサービスの状態(中間アウトカム)	市民がなっているべき状態(分野別最終アウトカム)
	サービスの状態(中間アウトカム)	(分野別最終アウトカム)



体系図の記号について
 ↑ … 向上することが望ましい
 ↓ … 低下することが望ましい
 → … 維持することが望ましい
 ※ … 指標として数値目標になじまない。
 (常に現状値を確認し継続的な体制整備に努める。)

分野9 健康危機管理

〈市民のあるべき姿〉

いつまでもいきいきと暮らすことができる

〈あるべき姿(基本目標3)〉

安心して暮らせる医療体制がある

